
ビデオ屋の自転車

川崎ゆきお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ビデオ屋の自転車

【Nコード】

N0217M

【作者名】

川崎ゆきお

【あらすじ】

生きているのか死んでいるのか分からないようなビデオ屋がある。

生きているのか死んでいるのか分からないようなビデオ屋がある。非常に小さな店で、以前はレンタルをしていたが、売り専用の店になっている。

特に専門ジャンルを看板に掲げているわけではないので、マニアの常連もいそうにない。

福岡は数日前から気になっていた。夕食後の散歩で、その店の前を毎日のように通っていたのだが、何かあるような雰囲気がある。

数日前から自転車は何台も止まっているのを目撃したからだ。

福岡は昔、裏ビデオをレンタルビデオ屋で買ったことがある。金曜日の夜、ほんの数時間だけ棚に並ぶ。翌日行くと、もうない。

その店はすぐにオーナーも代わり、普通のレンタルビデオ屋に戻ったが、金曜の夜は取り合いになるほど混雑した。

今までモザイクで曇っていた箇所が晴れているだけでも値打ちがあった。有名女優のモザイクなしは、まだ価値があった時代なので、高い値段でも福岡は買った。

その種のビデオが通販で手に入り、今はネット上に溢れ、価値は落ちた。

そんな時代に、マニア専門店でもないビデオ屋に客が押しかけるとは思えないのだが、ここ二日ほど、店の前に自転車が止まっているのが気になる。

福岡はその翌日万札を財布にいれ、行ってみた。

しかし客はいない。

若い店員がじっとこちらを見ている。万引きを警戒してのことだろうか。

福岡は棚を見た。

どのタイトルもありふれたもので、そのほとんどが中古品だった。そんなはずはない。あの金曜日の夜だけ出現するような、特別な

DVDがあるに違いない。そう思いながら、すべての棚に目を通したが、それらしきものはない。

初めての客には見せないのかもしれない。福岡は裏本時代の体験を思い出した。普通の工口本を買った後、店員がそれを数冊出してきた。それかもしれないと思い、福岡は適当に選んでレジ台に置いた。

しかし、何も起こらない。

福岡は店を出た。そして並んでいる自転車を見た。

次の日も自転車同じように並んでいた。

福岡と同じように、それに引っ掛かり、ドアを開ける客が多いようだ。

了

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0217m/>

ビデオ屋の自転車

2011年1月25日08時12分発行